

令和 8 年度

「運営に関する計画」



大阪市立南田辺小学校

令和 8 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

過去6年間本校では、暴力行為は発生していない。いじめについては、普段から担任が児童の様子をよく観察し、初期段階で聞き取りや指導を行っていることで、継続的ないじめの事案は発生していない。また、いじめアンケートなどから発見されたいじめについても担任がしっかり聞き取りを行い解消している。今後も教職員全員で児童の様子をよく観察しいじめ防止に努めていく。さらに児童に「いじめはどんな理由があってもだめだ」という意識をしっかりと持たせることや自分を大切にすること(自尊感情)を育てていくことが大事だと考える。

学校で定めているきまりは96%(令和7年度)の児童が守っていると校内アンケート回答しているが、安全に対する意識が不十分な児童もあり、学校のきまりを守ることへの指導は継続しなければならないと考える。

「学校が楽しい」「自分によいところがある」を感じている児童が8割程度であることも課題であると考えている。児童にとって学校が安心でき、自身のよさに気づくことができる場であるよう取り組みを進めていく必要がある。

本校児童の学力は高く、学力経年調査でもどの教科、学年でも概ね標準化得点が100を越えている。この高水準を維持していくことが今後の課題となる。そのためにも、子どもに合った指導法を工夫するとともに指導力の向上に努めていく必要がある。また、話し合い活動を授業に取り入れ主体的・対話的で深い学びに結び付けることもこれからを生きる児童にとって大切な力として育てたい。また体力面では、全国体力・運動能力調査の結果、全国平均を超えるものは少ない。体力をつけることは今後の社会生活を送る上でも重要であると考え。そこで、運動することの楽しさを味わわせ、体育の学習の充実をはじめ、体育的行事や活動を取り入れること、普段の生活の中で体を動かす習慣を身に付けさせることで体力をつけていく必要がある。

本校の児童用端末の活用率は令和7年度95.9%となっており、児童が端末に十分に触れ、活用が進んでいるところである。活用が進む中で、教科横断的な学習を行う際に情報の収集の仕方、整理の仕方、まとめ、表現する力の育成の大切さが明るみになってきている。そのため、情報活用能力の育成を進める必要がある。また、令和7年度は年間累計の平均時間外勤務時間が市平均を1時間程度上回っている。働き方改革の一層の推進が必要である。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。

○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語、算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる (1 ポイント=0.01)
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 48%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 92%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 学力経年調査における、「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 68%以上にする。
- 教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 20 時間以下とする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）**【安全・安心な教育の推進】**

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を 86%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語、算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる (1 ポイント=0.01)。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 45%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 89%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 学力経年調査における、「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 65%以上にする。
- 教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 25 時間 30 分以下とする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

(様式 2)

大阪市立南田辺小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】 全市共通目標(小・学校) (1) 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を 86%以上にする。(昨年度 85%) (2) 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。(前年度 84.2%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】 ・特別な教科道徳の学習でいじめについて取り上げたり、いじめについて考える日に全校でいじめについて考えたり、機会あるごとにいじめについて考える機会をもち、いじめは絶対にダメなことであることを意識させる。	
指標 ・令和 8 年度の小学校経年調査または校内調査(3 年生以上)で「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童を 93%以上にする。(前年度 92%)	
取組内容②【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】 ・児童朝会や朝の会、日々の指導などで確認したり掲示したりして、「学校のきまり」や月目標を常に意識できるようにする。	
指標 ・令和 8 年度の校内調査で、「学校のきまりを守っていますか」に対する肯定的な回答をする児童を 95%以上にする。(令和 7 年度 96%)	
取組内容③【基本的な方向 2 豊かな心の育成】 ・友だちの良いところや、自分のがんばったことを発表する機会を設ける。(授業での振り返り、道徳、図工の相互評価、終わりの会でのいいことみつけなど) ・できた、わかったと思えるような授業づくりや授業力の向上を目指す。	
指標 ・毎日 1 回以上、友だちのよいところや自分のがんばりを発表したり、交流したりする機会を設ける。 ・全常勤教員が年 1 回以上公開授業を行う。年間 3 回の全体研究授業、年間 3 回以上の自由参加の研究授業を行う。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立南田辺小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向４ 誰一人取り残さない学力の向上】 ・国語科における書く力の育成につながるような取組を行う。 ・算数科の基礎基本の定着につながるような取組を行う。	
指標 ・視写、あのね帳・日記、振り返りノートなど書く力の育成につながるような取り組みを月２回以上行う。 ・百マス計算を月２回以上取り組む。	
取組内容②【基本的な方向４ 誰一人取り残さない学力の向上】 ・教科学習や学級活動の中で、ペア、グループ、学級全体などの話し合いの場をつくり、話し合う経験を増やすことで、自分の意見を深めたり、新たな考えに気づいたりできるようにしていく。	
指標 ・教科学習や学級活動の中でどのクラスも学校行事等があるとき以外は、毎日２回以上、ペア、グループ、学級全体などでの話し合いの場を設ける。	
取組内容③【基本的な方向５ 健やかな体の育成】 ・学級でみんな遊びなどを取り入れ、運動に親しめるようにする。 ・学級や学年の交流につながる「なわとび運動」に取り組む。	
指標 ・学級でみんな遊びに取り組んでいるか児童アンケート「みんな遊びは楽しいですか」をとり、肯定的な回答を７０％以上にする。	

・学級や学年の交流につながる「なわとび運動」を2学期、3学期に実施する。	
--------------------------------------	--

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立南田辺小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標(小・学校) (7) 学力経年調査における、「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 65%以上にする。(昨年度値なし) (8) 教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 25 時間 30 分以下とする。(昨年度 25 時間 57 分 (通年勤務者))	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状況
取組内容①【基本的な方向 6 教育 D X の推進】 ICT 活用計画を作成し、それに基づき学年の発達段階に応じた情報を収集するためにスキルを身につけさせるように指導を行う。※低学年については、3年生から検索できるように文字入力 of スキルを身につける。	
指標 大阪市情報活用能力 (ICT) チェックリストにおいて、情報収集に関する項目で肯定的な回答を 90%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向 6 教育 D X の推進】 ICT 活用計画を作成し、情報モラル(著作権・肖像権・引用等)に気を付けたまとめ方ができる。 ※Google を中心に活用する。プレゼンテーションソフト・文書作成ソフトどちらも活用できるようにする。 ※低学年については、3年生からスムーズに取り組むことができるように文字入力 of スキルを身につける。	
指標 大阪市情報活用能力 (ICT) チェックリストにおいて、まとめる・発表する・情報モラルに関する項目で肯定的な回答を 90%以上にする。	
取組内容③【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・ゆとりの日や閉庁日を設けたり、始業式終業式を前倒したりする。 ・一人一人が勤務時間を意識できるように教員の時間外勤務時間の状況を SKIP の掲示板に掲載する。	
指標 ・月に 2 回以上ゆとりの日を設定する。 ・時間外勤務時間の状況を毎月 SKIP の掲示板に掲載する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点